

政策評価調書(21年度実績)

政策名	多様な教育の推進と未来を拓く青少年の育成		政策の目的等 学校・家庭・地域の連携・協働による教育を推進し、知・徳・体のバランスのとれた青少年を育成するとともに、県民の生涯学習を支える環境づくりをめざす。	主管部局名	教育庁
	政策コード	V-1		担当課室名	教育財務課

【政策を取り巻く社会経済情勢】

今後の動向	少子化や過疎化の進行により児童生徒数が減少するとともに、教育を巡る課題が深刻かつ複雑化する中で、学校・家庭・地域の信頼と協働による教育の推進や青少年の健全育成、生涯学習社会の実現に向けた取り組みが求められている。

【政策を構成する施策の評価結果】

施策名	評価結果		政策との関連度
	業績評価	主管部局評価	
1 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進	概ね達成	拡充	◎
2 信頼と協働による学校づくりの推進	達成	拡充	◎
3 大学等高等教育の推進	達成	現状維持	○
4 生涯学習社会の形成と社会教育の推進	達成	現状維持	○
5 青少年の健全育成	達成	現状維持	◎

【構成する施策に対する意見・提言】

○新大分県総合教育計画フォローアップ委員会での意見(H21.9) <ul style="list-style-type: none"> ・学力、体力が全国平均を下回る原因分析をすべき ・子どもへの効果が見える目標指標を設定すべき ・特別支援学級の担当教員の専門性を高める取組を ・学校評価では専門用語の使用が多く、一般の人が分かるようなものにすべき ・体験活動事業は単年度では定着しないので、ある程度長いスパンでの取組を ・国体終了後の県のモチベーション維持も問題 ・地域の実情に応じたスポーツ振興を行うべき 	○県政モニターの意見 <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上のため理科支援員配置の増員拡大を(H21.8.21) ・学力向上対策に算数の専科教員の配置を(H22.4.14) ・予習・授業・復習の3点セットの徹底により学力と学習意欲の向上を(H22.2.2) ・授業効率を高めるために評価・分析の実行を。特に「誤答例」から学ぶ面が大きい(H22.2.2) ・小中学校の教員の資質向上のため研修に励んでほしい。また採用試験においても資質が備わっているか見極めてほしい(H22.3.2) ・豊後高田市のように「寺子屋方式」で基礎部分のかさ上げを(H21.5.27) ・校長の授業観察により教員の意識を高め学力向上に役立ててほしい(H22.4.14)
○県政ふれあいトークでの意見 <ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室は大変ありがたい(H22.1.26) ・学校・家庭・地域が連携して青少年を育成してほしい(H21.11.4) ・留学生との交流の場をもっと小学校でつくってほしい(H21.12.7) 	○「安心・活力・発展プラン2005」推進委員会(H22.7.16人材育成部会、H22.7.29総合部会) <ul style="list-style-type: none"> ・新規学卒者の離職率も高い状態にあり、キャリア教育の必要性は増してきている。 ・最近の学校は、学校便りの地域配布や教職員の地域行事への参加等、開放的になった。 ・学校ボランティアは自分の生き甲斐であり、生涯学習のために学校に関わっていくといった気持ちを地域の人に持ってもらうことも必要。